

昭和39年度

三崎町国民健康保険特別会計補正予算

地方自治法（昭22年法律第67号）第219条第2項の規程により昭和39年度補正予算（2号）の要領を次のように公表いたします

第1表 歳入歳出予算補正
(事業勘定)

款	項	入		計
		補正前の額	補正額	
		千円	千円	千円
1.国民健康保険税	1.国民健康保険税	13,044	522	13,566
		13,044	522	13,566
2.一部負担金	1.一部負担金	0	0	0
		0	0	0
3.分担金及び負担金	1.分担金	0	0	0
	2.負担金	0	0	0
4.使用料及び手数料	1.使用料	41	0	41
	2.手数料	0	0	0
5.国庫支出金	1.国庫負担金	22,292	2,936	25,228
	2.国庫補助金	13,509	1,724	15,233
6.県支出金	1.県支出金	8,783	1,212	9,995
		0	0	0
7.財産収入	1.財産運用収入	4	0	4
	2.財産売却収入	0	0	0
8.奇附金	1.寄附金	0	0	0
		0	0	0
9.繰入金	1.他会計繰入金	0	0	0
	2.基金繰入金	0	0	0
	3.直営診療施設勘定繰入金	0	0	0
10.繰越金	1.繰越金	0	0	0
		1	0	1
11.諸収入	1.延滞金及び過料	0	0	0
	2.預金利子	0	0	0
	3.雑入	1	0	1
12.町債	1.町債	0	1,400	1,400
		0	1,400	1,400
歳入合計		35,382	4,858	40,240

第1表 (事業勘定)

款	項	出		計
		補正前の額	補正額	
		千円	千円	千円
1.総務費	1.総務管理費	3,597	202	3,799
	2.徴税費	2,647	98	2,745
	3.運営協議会費	777	104	881
	4.趣旨普及費	107	0	107
2.保険給付費	1.療養諸費	29,064	4,139	33,203
	2.助産諸費	28,684	4,139	32,823
	3.葬祭諸費	240	0	240
		140	0	140
3.保健施設費	1.保健施設費	725	17	742
		725	17	742
4.基金積立金	1.基金積立金	0	0	0
		200	0	200
5.公債費	1.再健、整備資金貸付金	0	0	0
	2.災害特別貸付金	0	0	0
	3.一般公債費	200	0	200
6.諸支出金	1.償還金及び還付加算金	1,496	500	1,996
	2.繰出金	10	0	10
7.予備費	1.予備費	300	0	300
		300	0	300
歳出合計		35,382	4,858	40,240

(施設勘定)

款	項	入		計
		補正前の額	補正額	
		千円	千円	千円
1.診療収入	1.入院収入	42,853	2,278	45,131
	2.外来収入	8,672	△63	8,609
	3.その他の診療収入	34,145	2,116	36,261
2.分担金及び負担金	1.分担金	0	0	0
	2.負担金	0	0	0
3.使用料及び手数料	1.使用料	121	0	121
	2.手数料	106	0	106
4.国庫支出金	1.国庫補助金	15	0	15
		380	0	380
5.県支出金	1.県補助金	380	0	380
		0	0	0
6.財産収入	1.財産運用収入	0	0	0
	2.財産売却収入	0	0	0
7.寄附金	1.寄附金	0	0	0
		0	0	0
8.繰入金	1.他会計繰入金	1,486	500	1,986
	2.基金繰入金	0	0	0
	3.事業勘定繰入金	0	0	0
9.繰越金	1.繰越金	1,486	500	1,986
		0	335	335
10.諸収入	1.預金利子	0	335	335
	2.雑入	63	247	310
11.町債	1.町債	20	7	27
		43	240	283
歳入合計		44,903	3,360	48,263

(施設勘定)

款	項	出		計
		補正前の額	補正額	
		千円	千円	千円
1.総務費	1.施設管理費	26,117	1,049	27,166
	2.研究研修費	23,817	1,199	25,016
2.医療費	1.医療費	2,300	△150	2,150
	2.給食費	15,710	1,510	17,220
3.施設整備費	1.医療費	14,690	1,510	16,200
	2.給食費	1,020	0	1,020
4.基金積立金	1.施設整備費	2,624	49	2,673
		2,624	49	2,673
5.公債費	1.基金積立金	0	0	0
	1.公債費	286	164	450
6.諸支出金	1.償還金	286	164	450
	2.繰出金	0	0	0
7.予備費	1.償還金	0	0	0
	1.予備費	0	0	0
歳出合計		44,903	3,360	48,263

指導事業計画書

昭和四〇年度

A 基本方針

近年に於ける我が国の経済の急速な発展は農業と他産業との生産性の格差や農業従事者との他産業従事者との所得の格差が依然として認められることと昭和三十八年度の農業に関する年次報告にも指摘されている。また農業内部においても農業労働力の不足と質的脆弱化ひいては農業後継者の絶対数の減少等深刻な問題が山積している。一方国際的な見地からみれば、貿易自由化への突入により青果物、畜産物とわす大きく開放経済の波にあらわれようとしている。この様な事態を直視すると、我が指導部においては一昨年より実施している農業振興五ヶ年計画に内外諸情勢を勘案したる上修正をなし農家所得の増大を期さんがため、生産、経営指導を徹底的に推進せんとする。

を高め、コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

を高める。コストの低減化を期する。故に本年度の初年度として管内三十分散するの適地を調査選定し、立木品評を調査選定しこれの新しい技術の向上につとめ

青年技術指導部研修講座

教育計画要項(後継者の確保と育成)

農業の構造改善は、農業基本法の施行にともなう農家の現実的な課題となり、この農業改善推進事業の中核となる土地改良、新農地の造成、選択的拡大、主産地の形成等を推進する中核的人物の養成、確保は緊急の要務であると考えられる。

最近における農村青年の急激な離村と農業技術の高度化に対応して農業後継者の量的確保とこの教育研修が緊要となってきた。また一方これ等青年の自主的な集団活動によって地域の農業や生活の改良改善が積極的に推進されることが大きく期待される。

一、教育重点目標
イ、農村青年の農業技術及び生活に対する基礎講座の開設
ロ、農村青年の研究組織の整備と協同実践活動の展開
ハ、農村青年の農業技術、経営、生活及び諸般についての研修
ニ、性格

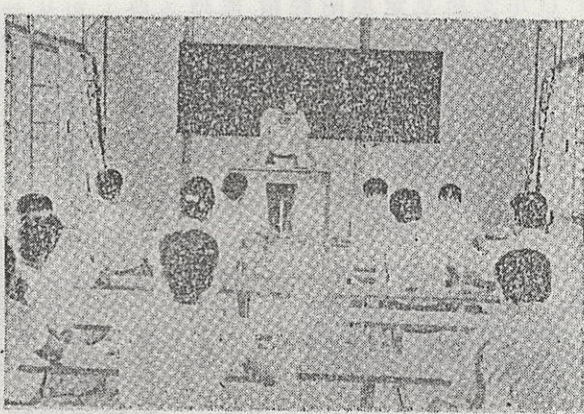
三、性格
日本経済が、数年来今までの程大きな構造的变化を来したことは、結核高度経済成長と、第二次産業を中心とした経済規模の拡大がもたらした影響であり、激しく流れる成長経済の中にあって、経済発展に取り残されないうちに、生産技術と併せて全体をソシヤク

活を確立しようとする意欲をもった農民の自主的、同士の組織である。有効な農業生産を増大し、経営の合理化、生活改善をめざす研究活動を中心として協同体制を展開し、個々の農家の健全な発展を基礎として農村振興に寄与し、新しい村づくりの推進母体となる。

私達は、誠実で友愛にみちた良識を養うためにグループの活動を尊重し、私達は研究の成果が地域発展に役立つことを念願として活動を展開する

五、研修講座実施要領
イ、共催
八幡浜中央農業改良普及所
三崎町役場
三崎町農業協同組合
三、期日及日程

活を確立しようとする意欲をもった農民の自主的、同士の組織である。有効な農業生産を増大し、経営の合理化、生活改善をめざす研究活動を中心として協同体制を展開し、個々の農家の健全な発展を基礎として農村振興に寄与し、新しい村づくりの推進母体となる。



研修風景

陸に海に 伸びゆく若人 自衛官採用

あなたが選ぶこのコースは 学びつつ国を守る明るい青春 4年間で技術部門を担当する 陸、海、空曹が約束されます

資格 ◎15~16才の男子
◎中学校卒業(見込)者
願書 39年11月20日まで
詳細は役場へ

町内の軽自動車

種類別台数と1台当りの年税額

種別	台数	年税額
1種 (55cc以下)	55	27,500
2種乙(55cc~95cc)	76	60,800
2種甲(95cc~125cc)	77	77,000
軽自動車	79	79,000
農耕用	6	9,000
軽二輪車	4	8,000
軽三輪車	12	30,000
軽四輪車	6	18,000
2輪の小型自動車		
		309,300

教育委員

任期満了に伴う教育委員が九月議会の同意を得て任命されました。

氏名	住所	生年月日
清水政雄	三崎一、八三番地	明治四十四年四月二十一日
山本登志子	佐田甲六九八番地	明治四十二年十二月二日

【広報二面より続き】

農業構造改善事業を推進しましょう

三崎町農業構造改善事業推進協議会

貯金は皆様の農協え

台風二〇号襲撃の被害

土産品の夏柑の行方

今年度土産品として送り出された夏柑がどこへどうして行ったのか考えてみたくなる程動いた。

美と健康に役かっ て約八、〇〇〇ヶ、貫にして四万貫金額にして約一千万円と莫大な数字、ネオ夏柑の役割を果した土産品に感謝する。

それにしては集めてみるも馬鹿にならない数字にため息をつく。